

年 月 日

産科婦人科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「再発子宮体癌におけるペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法施行症例の検討」

への協力のお願い

産科婦人科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2022年1月1日～2025年12月31日の間に、当科において、再発子宮体癌に対しペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2027年12月31日

研究目的・利用方法：当院での再発子宮体癌に対しペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法を受けられた患者さんの診療状況を調査・把握することにより、今までに報告されている疫学との比較や、どのような診療状況であるかを調査し、今後の治療に役立てていきたいと考えています。

研究に用いる情報の項目：カルテ上に記載されている初回治療時の進行期、組織型、治療内容、再発時の所見、ペムブロリズマブ+レンバチニブ併用療法治療開始前後の一般身体所見、血液検査、画像検査、無増悪生存期間、休薬・減量の有無を調査します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者 岐阜大学大学院医学系研究科寄附講座地域周産期医学講座 特任講師 早崎容

連絡先 岐阜大学医学部附属病院 産科婦人科 早崎容

電話番号：058-230-6349

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel : 058-230-6059
E-mail : rinri@gifu-u.ac.jp